

女性部ニュース

かがやき

2015年度 NO. 5

青森高教組女性部

2015. 11. 5 発行

TEL 017-734-7287

No image

学びの重要さを再認識！ 第25回 全国女性教職員 学習交流集会in長野

10月10～11日、長野市若里市民文化ホールにおいて、約500名の参加者を集め行われました。青森高教組から3人、県教組からは2人が参加しました。

初日の全体会では、ドキュメンタリー映画監督の坂田雅子氏が講演しました。ベトナム戦争で使用された枯葉剤で今も続く

悲劇や、平和利用の名のもと核に翻弄される日本人を取材し、軍産複合体の闇を描く坂田氏。先日の安保法制強行採決を経た今こそ、お仕着せでない日本の民主主義の幕開けではという氏の言葉に、参加者は大きく頷いていました。同日の夕食交流会には321名が参加し、出し物や近況報告で大いに盛り上がりました。二日目は基礎講座2講座と4分科会が同時進行する形で行われました。基礎講座では、宮下与兵衛氏(首都大学東京)による安倍「教育再生」に負けない教育実践方法と、駒田富枝氏(愛知労働問題研究所)による働く女性の母性保護に関する権利などを学びました。

筆者は第四分科会に参加しましたが、吹上政子氏(全教副委員長)の助言「教師が学ばないと真実を見る目が塞がれ、追い詰められる」にいたく共感。組合での学びの重要さを再認識しました。

青森中央高校 高松 さなえ

講演・イベント、どれもが心に染み入るものでしたが、一番心に残った言葉は全教女性部長竹中さんの「学校は希望」という言葉でした。劣悪な環境の中にあっても、決して学校を休まない一人の女の子の紹介をした時の言葉でした。自分の仕事の重要性を再認識し、大いに勇気づけられた2日間でした。

弘前聾学校 中田 眞弓

真田太鼓組による演奏で盛大に開幕した全体会は、戦争をテーマにした朗読劇や講師の講演など、平和について考えを深める内容のものでした。分科会では「集まれば元気、語り合えば勇気」を合言葉に、冗談を交えた和やかな雰囲気の中、悩みや愚痴など何でも気軽に意見交換でき、全国の女性教職員と繋がることができました。

青森県立盲学校 長尾 光佐子

知っていますか？ 『短期介護休暇』(特別休暇)

『短期介護休暇』とは、特別休暇の一つで「父母などが負傷、疾病又は老齢のため、2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある場合に、職員が家庭での医療・療育上の世話や身の回りの世話などをする場合に取得できる休暇」です。1年につき5日(要介護者が2人以上の場合は、10日以内)。1日、半日、1時間単位で所得できます。

手続きとしては、「要介護者の状態等申出書」の提出が必要です(指定された様式に沿って、職員との続柄、同居又は別居の別、介護が必要となった時期、要介護者の状態等を記載します)。

詳細については、統合庶務システム⇒「職員サポート」⇒「職員のひろば」をご覧ください。

※青森高教組女性部長の工藤が、10月に母親の介護で短期介護休暇を取得しました。取得に関して質問等がありましたら、どうぞ高教組までご連絡ください。